

ふくしの宅配便

～この広報紙は赤い羽根共同募金の配分を受けています～



9月27日（土）、令和7年度ふくしの集いの午後の部として、初の試みとなる、eスポーツ大会を行いました。終了後、お互いの健闘をたたえながら、参加者全員でパシャリ！

R7ふくしの集い	1～2
福祉教育	3
こどもパル、町老人クラブ	4
F&Sパル、みぞくちテラス	5
デイサービス	6
実りの会、R7ふれあい祭、身体障がい者相談員	7
寄付者御芳名、各種お知らせ	8



■本所 伯耆町大蔵1010 (岸本保健福祉センター内) TEL 0859-68-4635 FAX 0859-68-4634
 [生活困窮者自立支援事業専用ダイヤル] TEL 0859-21-0608
 [フィットネス&スタジオ パル] 直通 TEL 0859-68-4811
 小規模保育所こどもパル 伯耆町大蔵1081-7 TEL/FAX 0859-39-8211

■岸本支所・通所介護事業所・居宅介護支援事業所
 伯耆町大蔵1030-1(岸本老人福祉センター内) TEL 0859-68-3781 FAX 0859-68-4588
 [通所介護事業所] 直通TEL 0859-68-3706 [居宅介護支援事業所] 直通TEL 0859-68-5200

■溝口支所・通所介護事業所・訪問介護事業所
 伯耆町溝口281-2 (溝口福祉センター内) TEL 0859-63-0666 FAX 0859-63-0660

■みぞくちテラス
 伯耆町溝口647 (役場分庁舎4・5階) TEL 0859-62-7110



生活相談はこちらへ

ほんとうの「ふくし」ってなんだろう！ ～令和7年度 伯耆町ふくしの集い～

ふくしの集いを、9月27日（土）に鬼の館で開催しました。

今回のテーマは、「ほんとうの「ふくし」ってなんだろう！」

オープニングは、NPO法人伯耆みらいによる元気太鼓で、迫力満点の太鼓演奏でスタートしました。

午前の部では、講師に全国社会福祉協議会副会長の古都賢一氏（米子市出身）をお招きして、「これからのふくし～共に生きる社会とは～」と題し、ご講演をいただきました。

参加者からは、「支え合いや繋がりの大切さをあらためて感じた。」「おたがいさまの精神で協働しながら暮らしたい。」「ふくしは難しいことでなく普段の生活にあるものだと思えた。」などの声が寄せられ、参加者の皆さんそれぞれが我が事としてふくしを考え、振り返る機会となりました。



【古都さんの講演より抜粋】

★人と人との活動行為は、生きるための「必須要素」

- ① 人との交流が多いと健康にプラス
- ② 運動は仲間とすると健康にプラス
- ③ サロンへの参加は健康にプラス
- ④ 笑いのある生活が健康にプラス
- ⑤ 地域組織への参加は健康にプラス
- ⑥ 地域で役割を担って長生きしよう



午後の部では、伯耆町で第1回目となる「eスポーツ大会」を開催し、競技種目である「太鼓の達人」に個人19名が参加。熱戦が繰り広げられ、前田敏幸さん（溝口）が初代王者に輝けました。

その他、会場では鳥取県eスポーツ協会による健康増進ソフトの展示・体験コーナー、社会福祉協議会の活動展示や、岸本赤十字奉仕団による炊き出しカレーピラフの配布、赤い羽根共同募金コーナーのほか、伯耆みらいの販売もあり、たくさんの来場者で賑わいました。

引き続き中身のある信頼される地域の窓口として、住民の皆様と一体となって地域福祉活動を推進してまいります。今後ともご支援ご協力をお願いします。





「ふ・く・し」を学ぼう

～溝口小学校 福祉教育～



福祉意識の育成を目的に町内の小・中学校から依頼を受け、社協職員等が福祉教育に出向いています。

9月4日（木）に、溝口小学校5年生児童18名を対象に「高齢者疑似体験」を、また翌週9日（火）には、障がい老人をささえる家族の会と伯耆地域包括支援センターの職員とともに「認知症サポーター養成講座」を行いました。

★高齢者疑似体験・車いす体験 9月4日（木）

高齢者疑似体験では、体験キットを装着してステージに上がってみたり、電話帳や硬貨を確認しながら、普段とは違う身体の動きを体験しました。また、車いす体験では、自走用・介助用の車いすの特徴をおさえ、実際に乗ったり押してみたりしました。どちらの体験でも、介助者の声掛けの必要性、また目線を合わせて話すことの大切さを学びました。



腰が痛くて思うように足が上がらないよ～

次に何をするか伝えてもらえると安心するね



★認知症サポーター養成講座 9月9日（火）

障がい老人を支える家族の会 大森氏の話聞いた後、認知症のおじいさんと暮らす家族の生活風景をテーマにした寸劇をスタッフ全員でおこないました。

また、伯耆地域包括支援センター認知症地域支援推進員 礒江氏の講座「認知症ってなあに？」では、脳をイソギンチャクに例えて、認知症にともなう脳の情報のつかみにくさ・取り出しにくさ、精神的な不安感などを分かりやすく教えてもらいました。

認知症の方との接し方を学び、困っている人を見かけたら自分たちには何ができるのかを一人ひとりで考えました。最後に修了の証であるオレンジリングを手に記念撮影をおこないました。



こパル

親子deからだをうごかそうDay

10月3日（金）、あいにくの天気で園内開催に変更しましたが、おうちの方が2名ずつ来られ、園内は大賑わい！おうちの方と一緒に子どもたちの雰囲気がいっしょと違います♪

みんなでおやつを食べたら準備完了！スタッフ手作りのあそびコーナーでは、子どもたちはもちろんのこと、おうちの方も一緒に体を動かして楽しく半日を過ごしました。

※町内保育所での行事の実施方針変更にともない、例年行っていた“運動会ごっこ”から“親子deからだをうごかそうDay”という形での参加日に変更しました。



『こどもパル』ホームページのQRコードはこちら！
日々の様子をブログにて掲載しています



スポーツの秋 元気ハツラツ！ シニア向け運動会！

10月1日（水）に岸本地区、8日（水）に溝口地区で、伯耆町老人クラブ主催の地区別ふれあい運動会が開催されました。

この大会には両地区とも100名を超える高齢者の皆さんが参加され、健康づくり、仲間づくりを目的に5種目の競技に挑戦されました。会場内は応援合戦や、ハッスルプレーへの歓声や笑いに包まれ、大盛りあがりの大会となりました。

詳しい大会の様子は、老人クラブ会報誌「ふれあい」で紹介します。



みぞくちテラソ



2025歩き旅



10月21日(火)、みぞくちテラソ主催の「2025歩き旅」を開催し、今年は「湊山公園コース」と「米子城跡コース」の2コースを用意し、湊山公園コースには10名、米子城跡コースには11名が参加しました。心配された天気もなんとかもち、心地よい秋風の中でのウォーキングに、参加者からは「公園の中は車を気にせず歩いて安心」、「トイレも多くて良かった」、「米子城跡から眺める景色は本当に絶景」といった感想が寄せられました。



米子城跡コース



湊山公園コース

フィットネス&
スタジオパル

大山登山イベント



10月18日(土)、2度目となる大山登山イベントを開催しました。

当日は残念ながら前回同様に雨の予報で、山頂までは諦め、元谷までのハイキングコースを会員の皆様と歩きました。

幸いにウォーキング中は小雨程度に収まり、元谷でのご飯休憩では少し晴れ間も覗かせ自然を十分に感じる事ができました。普段パルに通う時間が違い、あまり交流がない会員様同士でお話やお菓子を配りあっている様子が見られ新たな交流の場の提供にもなっているように感じました。

参加者の皆様からは、「ぜひ次回リベンジして山頂を目指したい。」「3度目の正直で次は晴れることを祈ります。」「次に向けてパルでトレーニングします。」など次回に向けて意欲を燃やされていました。

怪我無く無事に終えホッとしている反面、不完全燃焼の気持ちもあります。

次回開催が出来るよう準備を進めつつ、効果的なトレーニングの提供など運動のサポートもさせていただきます。



岸本デイサービス

笑顔と拍手でにぎやかに！

9月17日（水）から19日（金）の3日間、ボランティアの皆さまにお越しいただき、盛大に敬老会を開催することができました。カラオケや銭太鼓、楽しいマジックで心温まるひとときを過ごすことができました。お昼にはお祝い膳を囲み、笑顔あふれる時間となりました。

（順不同、敬称略）

【ゆうゆうブラザーズ、春日銭太鼓同好会、マジシャン野坂】



寿



みぞくち デイサービス

敬老お祝い御膳でおもてなし

敬老の日に合わせた1週間、日頃の感謝の気持ちを込めて、「敬老御膳」でお祝いさせていただきました。恒例行事とあって、利用者の皆様からは「今年も美味しい赤飯が食べれてよかった!」、「来年もこうして祝ってらえるようにがんばらにゃいけん!」、などなど声をいただきました。

こうして皆様のご長寿をお祝いできること、心よりうれしく思います!



実りの会 ～秋のお出かけ～

9月19日（金）琴浦町と北栄町へ出かけました。塩谷定好写真記念館では、写真だけではなく、歴史的な建物や見える景色も楽しみ、午後からは待ちに待ったぶどう狩りへ！甘みがぎゅっと詰まったぶどうを頬張りながら話に花が咲いているようでした。

お久しぶりの方、去年の広報紙を見て新たに会員になられた方…参加された皆さんの顔を見ることができ、職員にとっても良い一日でした。



実りの会とは

町内のお一人暮らしの高齢者（65歳以上）の方を対象に実施している事業です。生きがいづくり・仲間づくりを目的に、年6回程度町外へ研修・観光・買物などへ出かけます。

社協会費を利用させていただいています

実りの会は、町内の皆さまからいただいた社協会費を活用して運営しています。

実りの会 会員になるには

入会希望の方は・興味のある方は**社協本所（68-4635）**へお気軽にお問い合わせください。各回およそ1か月前にお手元へ案内をお送りします。

第26回 中・四国身体障害者相談員研修会

令和7年10月2日（木）、第26回 中・四国身体障害者相談員研修会が米子コンベンションセンターで開催され、「アートを仕事に」と題して、（アーツスペースからふる理事長・妹尾恵依子氏）の講演がありその後、取組事例として「オストメイト日常生活訓練を通じた相談員活動」（鳥取市身体障害者相談員・奥田春寿氏）、「相談員の再配置に向けた取り組み」（伯耆町身体障害者相談員・花倉 積氏）が発表されました。花倉さんの発表内容は、「伯耆町では、相談件数が少ない等の理由で、令和2年から相談員配置がなくなっていたことを、身障者協会のメンバー1人1人の熱い要望があり、令和6年度から再配置が実現した。」というもの。

今後、相談窓口としての持続可能な相談業務の在り方、展開と構想の発表もあり、発表内容の**ポイントは3つ。**

- 1) 障がい種別は様々であり、相談内容も個別に違うので、町内の障害者手帳のある方に『相談員』配置の意義を周知し、何でも話せる相談窓口になりたい。
- 2) 障がい者の更生援護と合理配慮の推進。
- 3) 伯耆町身体障害者福祉協会の活動：①障がいがある方の楽しめる・笑顔を生み出す集いの場づくり②日常生活における情報交換（相談ごと）を、定期的に行える場づくりとして継続し、会員以外においても相談窓口として機能を果たす団体へ。

※当日の発表資料の詳細につきましては、下記までお問合せ下さい。



● 伯耆町身体障害者福祉協会（事務局）より

障害者手帳をお持ちの方へ；随時、会員募集をしていますのでお気軽にお問合せください。お試し参加も可能です。楽しめる企画で、障がいがある方、又はそのご家族様も、情報交換の場として是非、ご参加下さい。

お問合せ先 伯耆町身体障害者福祉協会（社会福祉協議会 内）電話 68-4635

伯耆町身体障害者
福祉協会
花倉会長が事例発表！

各表彰受賞者のご紹介

（敬称略、順不同）

鳥取県社会福祉協議会会長表彰

景山 良一（金屋谷）

鳥取県老人クラブ連合会長表彰（団体表彰）

みどり区友の会

大山クラブ

伯耆町社会福祉協議会会長表彰

西尾 章子（久古）

ご寄付ありがとうございました

令和7年9月1日～令和7年10月31日

足立泰子様（大平原）	山本泰様（豊三ツ多シ）	村上茂様（豊三ツ多シ）	後藤弥様（大原）	渡部峰逸様（大寺）	村尾雅堅様（岩立）	藤井哲也様（吉長）	仲田秋子様（番原）	濱田陽子様（坂長）	澤田浩英様（貴住）	野口昭子様（口別所）	野坂幸二様（岸本）
------------	-------------	-------------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------

一般寄付として

香典返しとして

おせち料理配布のご案内

～この事業は皆様の温かいお心遣いがあるからこそ行っています～

町民の皆様からご協力いただいた歳末たすけあい募金で、年末にお一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の方々におせち料理をお届けします。

対象者の把握は民生児童委員の皆さまにご協力をいただき、お配りする皆さまへは、12月中旬に案内ハガキをお送りいたします。

伯耆町共同募金委員会



パネル掲示のご案内



「ふくしの集い」当日の掲示物を岸本保健福祉センターホール（正面玄関を入ってすぐ）に掲示しています。内容は随時変更しますので、ぜひお立ち寄りください。



チャリティー募金の寄付について

伯耆町共同募金委員会

寄付者：森と清流の里実行委員会様 寄付金額：52,350円

令和7年10月26日（日）、『ふれあい祭り』がガーデンプレイスで開催されました。伯耆町共同募金委員会では、例年、共同募金ブースを設置し募金にご協力をいただいております。募金グッズの他に、ヨーヨー釣り・おもちゃすくいコーナーを設



け、多くのお子さま連れの皆さまに楽しんでいただくことができました。そして、中学生ボランティア（ゆめネット）として、溝口中学校2年の大下耕之介君が参加。なんと、お父さんも一緒にこのコーナーを盛り上げていただきました。また、同一ブースで森と清流の里実行委員会様が実施される恒例のチャリティー事業“ふれあい汁”と“餅つき大会”に参加させていただき、例年どおりの長い行列ができ大賑わいでした。この事業の収益は、伯耆町共同募金委員会が毎年寄付を受け、福祉活動助成に活用させていただいております。寄付をいただきました森と清流の里実行委員会様、共同募金にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



こちらから本会HPを
ご覧いただけます。